

科目区分	専門教育科目	授業科目名	臨床栄養学Ⅱ（食事療法の原理）			科目コード	23S505	担当者	古賀 克彦			担当形態	単独		
対象学科・コース	生活創造学科 栄養士コース	配当年次	2年次	開講学期	前期	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	栄養士必修				
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分			
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び科目との関連											科目に含めることが必要な事項	

授業の主題	学生が各種疾病と食事療法との関係を理解することを目的とする。	課題等への対応（フィードバックの方法等）	課題の提出はないが、オフィスアワー等の時間に質問への対応を行う。定期試験の結果については、追再試験期間中に対応する。
授業の方法	講義形式	アクティブ・ラーニングの実施方法	授業内に問題を解き、解答の検討を行う。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	循環器 動脈硬化症（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	循環器の解剖生理と、教科書を用い動脈硬化症について予め予習を行っておく。	第9回	腎臓 腎不全（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	教科書を用い腎不全について予め予習を行っておく。	
第2回	循環器 高血圧症（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	教科書を用い高血圧症について予め予習を行っておく。	第10回	血液 貧血（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	血液の解剖生理についてと、貧血について予め予習を行っておく。	
第3回	循環器 虚血性心疾患（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	教科書を用い虚血性心疾患について予め予習を行っておく。	第11回	免疫・アレルギー（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	免疫の仕組みについてと、自己免疫疾患及びアレルギーについて予め予習を行っておく。	
第4回	循環器 脳卒中（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	教科書を用い脳卒中について予め予習を行っておく。	第12回	骨・関節および歯科 骨粗鬆症他（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	骨組織の解剖生理と、教科書を用い骨粗鬆症について予め予習を行っておく。	
第5回	循環器 メタボリックシンドローム（定義、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	教科書を用いメタボリックシンドロームについて予め予習を行っておく。	第13回	外科 術前・術後の栄養管理（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	外科・術後の栄養管理について予め予習を行っておく。	
第6回	呼吸器 呼吸器疾患（COPD含む）（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	呼吸器の解剖生理と、教科書を用い呼吸器疾患について予習を行っておく。	第14回	臨床栄養学総論① 臨床栄養学の意義と目的 医療・福祉と臨床栄養	教科書の「臨床栄養学の意義と目的」と「医療・福祉と臨床栄養」の部分を読み、予習を行っておく	
第7回	腎臓 糸球体腎炎（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	腎臓の解剖生理と、教科書を用いCKD（慢性糸球体腎炎）について予習を行っておく。	第15回	臨床栄養学総論② 食物と薬剤の相互作用	教科書の「食物と薬剤の相互作用」の部分を読み予習を行っておく。	
第8回	腎臓 ネフローゼ（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	教科書を用いネフローゼ症候群について予め予習を行っておく。			事前・事後学修時間（分／授業1回）	180分／授業1回

教科書 [書名／著者名／出版社]	エッセンシャル臨床栄養学／佐藤和人／医歯薬出版株式会社	受講生へのメッセージ	栄養士として働いていくうえで、治療食を介して患者さんの治療や、喫食者の健康増進に係わる事が出来る事は大きなやりがいとなります。難しい内容も多いですが、社会に出ると必ず必要となります。頑張ってお勉強していきましょう。
参考書 [書名／著者名／出版社]	なし		

